

ネイティブリゾプス属ペクチナーゼ

Cat. No. NATE-0536

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ペクチナーゼは細胞壁の成分であるペクチンを加水分解します。彼らはメチルエステル化されたペクチンや脱エステル化されたペクチンを攻撃する可能性があります。これはペクチナーゼ活性の源であり、セルラーゼおよびヘミセルラーゼ活性も含まれています。

用途 植物の原形質体調製に使用され、細胞小器官の分離前に細胞壁を消化します。ペクチナーゼは、*Rhizopus sp.* から得られる酵素で、細胞小器官の分離前に細胞壁を消化するために植物の原形質体調製に使用されます。これは、ペルオキシソームおよび小胞体におけるペロキシシン16を研究するために、アラビドプシスの根細胞の細胞壁を消化するために使用されてきました。ペクチナーゼは、植物組織への植物病原体の侵入、農産物の腐敗、さまざまな食品加工および植物バイオテクノロジーの応用における役割を研究するために使用されます。

別名 ペクチナーゼ; ペクチンデポリメラーゼ; エンドポリガラクトロンナーゼ; ペクトラーゼ; ペクチンヒドロラーゼ; ペクチンポリガラクトロンナーゼ; エンドポリガラクトロンナーゼ; ポリ- α -1,4-ガラクトツロン酸グリカノヒドロラーゼ; エンドガラクトツロンナーゼ; エンド-D-ガラクトツロンナーゼ; ポリ(1,4- α -D-ガラクトツロン酸)グリカノヒドロラーゼ; ポリガラクトツロンナーゼ; EC 3.2.1.15; 9032-75-1

製品情報

由来 リゾプス属 (*Rhizopus sp.*)

形態 粉末

EC番号 EC 3.2.1.15

CAS登録番号 9032-75-1

活性 > 5 ユニット/mg タンパク質 (Lowry)

単位定義 1ユニットは、25°CでpH 4.0の条件下でポリガラクトツロン酸から1.0μモルのガラクトロン酸を1分あたり放出します。